

第5回 石神井庁舎跡敷地活用検討会議

議事録

日 時 令和7年1月23日（木）16時30分～18時40分

場 所 男女共同参画センターえーる3階 第1～3会議室

出 席

【委 員】小泉会長、高口委員、吉原委員、豊田委員、栗原委員、松浦委員、森委員、
関委員、沖委員、井越委員（以上10名出席）

【高校生】2名

【区職員】副区長、企画部長、施設管理担当部長、都市整備部長、企画課長、
企画担当係長、事務担当職員

【コンサルタント】4名

傍聴者 1名

会議次第

1 開会

2 第1回ワークショップのまとめ・第2回ワークショップの説明 【資料1】

3 その他

1 開会

■企画部長

定刻となりました。これから、第5回の石神井庁舎跡敷地活用検討会議を開催いたします。

本日の議題に入る前に、事務局から委員の出席状況と傍聴者の報告、資料の確認をお願いいたします。

■事務局

事務局から委員の出席状況についてご報告いたします。現在10名にご出席をいただいております。

また、本日の会議も公開でございます。傍聴の方が1名いらっしゃいます。

会議録作成のために本日も録音をさせていただきます。前回同様ですが、個人ワークとグループワークにつきましては、会議録を作成せず、その後の検討結果の発表や質疑応答のみ会議録を作成させていただきます。会議録については、これまでと同様、委員のお名前は伏せたうえで区のホームページに掲載させていただきます。掲載前に皆様に確認をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

続いて、資料の確認でございます。

<資料確認>

事務局からは以上です。

■企画部長

それではこれからの進行は小泉会長、お願いいたします。

2 第1回ワークショップのまとめ・第2回ワークショップの説明【資料1】

■会長

本日の議題は1つです。前回のワークショップのまとめと本日のワークショップの説明から進めたいと思います。

資料1の説明を事務局からお願いいたします。

■コンサルタント

まず資料1、第1回ワークショップのまとめと本日のワークショップの説明をします。

1 ページをご覧ください。本日の進行表です。10 分程で第1回ワークショップのとりまとめを報告し、その後5分程で本日の進め方を説明します。3 番以降はグループワークと成果物等の共有ということで、詳細の説明は後程します。

2 ページをご覧ください。第1回ワークショップにて、グループ毎に議論いただいた成果物の概要です。各グループにファシリテーター1名ずつが入り、議論した内容を概要版としてまとめたものです。

まずグループ1です。石神井公園のみどりをエリアの資源として活かす拠点とすることや、屋上や外壁を緑化することなどが議論されました。また、施設として老若男女が集まれる場所として、あえて空間として機能を定めてつくりきらない、柔軟性のある施設とし、マーケットやイベントに活用することも議論されています。駅から商店街を介した動線を活かし、駅との回遊性向上や飲食店を活かせるように周辺から人を施設に呼び込める拠点として整備してはどうかという議論もありました。計画地西の関越側からの玄関口にもなるような話題性のある建築物という意見も挙がりました。スポーツをやっているシーンを外から眺めたり、石神井の農業PRを行えるような情報発信機能を導入するという議論もなされました。

グループ2です。駅から石神井公園の「みどり」に誘導しながら、周辺の回遊性を高める、まち歩きの中継的な拠点とすることが議論されました。また、誰もが自由に集まり、憩い、地域とつながる「新しい概念の公園」として、施設そのものが公園として活用される、立体都市公園としてはどうかという意見も挙げられています。青少年、子育て世帯、アクティブシニア等の多世代の居場所となり、それぞれの悩みを解決できる場所にという議論がありました。また、石神井の歴史・文化・自然が学べたり、ワーキングスペースなどがあり、共創的な活動

ができる場所という意見もありました。音楽・文化など趣味でつながった人達の活動が発表され、情報交流ができる多目的な施設といった意見や、住みたいまち、子育てをしたいまちの印象を付けられるような練馬区・石神井の新しいシンボルとなるような施設という意見も挙げられています。

グループ3、高校生のグループです。施設のコンセプトは、「ワクワクとゆるゆるの繋がり」の場、個々人の関心事に挑戦できたり発表できるような「ワクワク」エリアと、リラックスして日常使いができる「ゆるゆる」エリアが、ひょうたんのような形で繋がっている施設という提案がありました。「ワクワク」エリアには、イベントや音楽、スポーツ等、多目的に活用できる刺激のあるスペース、「ゆるゆる」エリアには、緑溢れる広場や子育て支援の場、学習スペース等を導入するような議論がされています。駅や石神井公園、他の周辺施設を繋ぐ中継地点になるような施設、さらに、緑溢れるまちの雰囲気や騒音が少なく平和なイメージを残したい思いと、現在の練馬区にはない新しいものを作り、まちを発展させたい思いが両立できるような施設として検討することも議論されました。

各グループの成果物の概要は以上です。3ページ以降は、各グループで付箋を貼っていただいた成果物を電子化したものです。3ページと4ページがグループ1、5ページがグループ2、6ページがグループ3の成果物です。参考としてご覧ください。

続いて7ページです。3グループの成果物の概要を説明しましたが、3グループで共通した観点があったかと思えます。共通したキーワードを事務局としてまとめさせていただきました。まず、「日常・居場所」として、毎日ふらっと立ち寄れるような場が欲しいという意見が共通として挙げられました。続いて「緑・憩い」として、広場や公園の導入、また施設の全体や屋上・壁面等の緑化による、緑溢れる憩いの場が必要ではないかという議論が共通してなされました。また、「街の回遊性」という視点で、駅、石神井公園、他周辺施設と繋がる場としての回遊性の重要性を議論されています。続いて「多目的なスペース」として、マルシェ開催ができる場所や自由に借りられる部屋等、多様な関心を受け止めてくれる場についても共通して議論がなされています。「情報発信」については、学生の部活の発表や練馬の農業のPR等、区民が発表・発信できたり、練馬区の情報を得られる場という議論がありました。最後に、「多世代」として、若者や子育て世代等、多世代が使える場として検討していくべきという議論もありました。以上を3グループの共通項として、事務局でまとめました。

続いて、第2回ワークショップの進め方について説明します。8ページをご覧ください。本日は第1回ワークショップのとりまとめを踏まえたグループワークを行い、発表していただいた後に相互に意見交換していただく時間を設けています。

まず初めにグループワークの時間を 50 分設けています。テーマは、第 1 回ワークショップの共通項 6 つに対して、皆さんのイメージする空間や施設を検讨いただきたいと思っています。例えば「日常・居場所」というキーワードについて、なぜこの場所に大切なのか、何を大切にするのかを付箋に記入して、ワークシートに貼り付けていただきたいと思います。加えて、事務局でまとめた第 1 回ワークショップの共通キーワードの 6 つ以外に、大切だと思うものがあれば、そちらも議論いただきたいと考えています。必要に応じて、第 1 回ワークショップの付箋は貼り替える形で議論いただいても構いません。その場合付箋の色が変わる部分もあるかと思いますが、気にせず活用いただければと思います。50 分議論いただいた後、中央の大きなテーブルの上に、3 グループの成果物を並べ、議論いただいたものを各グループ 3 分程度で発表いただき、共有したいと考えています。最後に 35 分間、皆さんから各グループの成果物への意見や質問をいただき、最終的なとりまとめに向けて意見交換をしていただければと考えています。

最後、9 ページです。本日の成果物のイメージを載せています。第 1 回ワークショップの共通キーワード毎にワークシートにスペースを設けています。ピンクの付箋にはキーワードに紐づくイメージする空間や施設、青の付箋にはなぜ大切なのか、何を大切にするのか、黄色の付箋にはその他の意見を記入いただき、貼り付けていただければと思います。

本日の進め方についての説明は以上です。ワークショップを始めていければと思います。50 分グループワークの時間を設けていますが、初めに個人ワークの時間を設けるなど、ファシリテーターと相談の上で柔軟に進めていただければと思います。

■会長

前回のとりまとめと結果について、ご質問はありますか。事務局で分かりやすくまとめていただいたかと思います。高校生のグループでは「ワクワクとゆるゆるの繋がり」のような面白いコンセプトも挙げていただいておりますので、他のグループの意見等も踏まえながら進めていただければと思います。

■コンサルタント

これから 50 分間、グループワークを進めていただければと思います。

(グループワーク)

■コンサルタント

各グループ、3 分程度で発表いただければと思います。
それではグループ 1 から発表をお願いします。

■委員

グループ1では、様々な用途に使えるような多目的スペース、例えば地域の町会や自治会が活動できるような、あるいは音楽の練習ができるようなレンタルルームが挙がりました。以前視察させていただいた豊洲シビックセンターでは、そのような多目的スペースの稼働率が高いというお話を伺いました。練馬にもそのような施設ができると稼働率が高くなるのではないかと期待感があります。スペースの目的は1つとするのではなく、広場的に使用できるようなスペースがあれば、マルシェのような使い方もできるのではないかと思います。

加えて、庁舎跡敷地の特徴として、近くに石神井公園があります。そのため、石神井公園の入口となるような施設になると良いと思いました。具体的には、壁面緑化を行ったり、屋上を芝生にしたりすることで、お子様連れの方々も集まるような話題性のある建物にしていきたいと思いました。

また、「まちの回遊性」という視点についても検討を行いました。付近にあるレストランや散歩道と連動して、石神井のシンボリックな施設になると良いと考えました。

加えて石神井庁舎跡敷地は凸凹している土地ですが、その特徴を利用し活かした、注目されるような建物を作るとかえって面白いのではないかと感じました。

他にも、防災や気候変動に対応できる建物であってほしい、多世代の方々が集まるような場所になると良いと話し合いました。

■コンサルタント

続いてグループ2、お願いします。

■委員

グループ2では、6つのカテゴリの中で、「まちの回遊性」という意見が最も多く挙がりました。前回のワークショップでも、グループ2では「まち歩き」というキーワードを重視していました。今回のワークショップでは、石神井公園やボート池を中心としたまち歩きの1つの拠点として、また、ふらっと入れる居場所として、ベンチが設置されているような、お金がかからないような共用スペースがあると良いという意見が出ました。

また、練馬区といえば「みどり」というイメージがあるため、この「みどり」を活かした、マルシェ等のイベントが実施できるような多目的スペースがあると良いと話し合いました。また、芸術文化振興のためのホールなど文化施設が必要ではないかという意見も出ました。

「情報発信」という観点では、練馬の農業や防災についての情報発信も必要だという意見が出ました。

また、今後石神井公園駅南口の再開発に伴い建設される、庁舎機能のある高層

ビルとの関連性についても考慮する必要があるという意見も挙がりました。

■コンサルタント

ありがとうございます。グループ3、お願いします。

■高校生

グループ3では、「多世代」「日常・居場所」「緑・憩い」「多目的なスペース」に関する意見が多く挙がりました。

全年代が集まれる場所や、買い物や飲食のスペースがあり、この場所だけでほとんどのことが賄えるような施設になれば、利用者の方々が施設内で一日中過ごせたり、「ここに来れば何とかなる」と思っただけで気軽に来ていただきたりするような施設になり、人が集まるのではないかと考えました。

加えて、石神井公園の特徴である「みどり」も大切であるため、景観を損ねないようなみどりの要素も必要だという意見もありました。

さらに、多目的スペースに関して、中と外で一体的な活用ができると良いという意見が挙げられました。例えば、外のスペースにキッチンカーを誘致し、中と外をバランスよく盛り上げていくことで、外の賑わいが広がり、まちの回遊性にもつながるのではないかと考えました。

■コンサルタント

ありがとうございます。ここからは皆さんで、意見を出し合いながら、各グループに回答いただくような場にさせていただきたいと思います。ファシリテーターは小泉会長にお任せしてよろしいでしょうか。

■会長

それでは3つのグループ発表全体を通して、気になったところや気づいたところ等、ご意見やコメントをいただけますでしょうか。

■委員

跡敷地周辺が豊かであるという部分が大事だと考えております。グループ3の発表の中では施設内で完結すると良いという話もあったかと思いますが、外のまちの魅力がさらに高まるような施設であるという点がベースにあるのではないかと思います。

■会長

外との関係性において施設のあり方を考えなければならない、というのは重要な視点ですね。回遊性の視点では、石神井公園や商店街との繋がりを考慮し、施設の中で1日中楽しめるだけでなく、地域一帯で1日中過ごしていただけるように、エリアを広げて考えるとより利用者の方も楽しめるかもしれませんね。ありがとうございます。

■委員

グループ3に発表いただいたキッチンカーという話は、グループ2でも挙が

りました。その際、チャレンジレストランという形で、事業者がトライアルで出店できるようなスペースを設置したり、シェアキッチンを設置したりするなどして、新しいビジネスを応援できるような施設があると良いのではと話し合いました。

また、グループ2ではベンチが必要だという意見も出ていました。前回のワークショップではカフェがテナントとして入ると良いという意見を出しましたが、離乳食が必要なお子様のいる層だとカフェはなかなか利用できず、また、チェーン店のカフェ（スターバックス等）が出店した場合には料金的に楽しめない層もいるかと思います。そのため、座ることのできる場所があり、何か食べたい方はテナント等で購入して食べることができるような場所があると良いと考えました。

■会長

お店の外で買って食べたりすることができたり、何かを買わなくても少し休めたりするような空間があったらいいですね。日本はベンチが非常に少ないという特色があります。

■委員

コロナでベンチがさらに撤去されたイメージがあります。人が外で集える場所が少なくなっているのも、そういった場所があるといいなと思いました。また、前回のワークショップで出ていた「ワクワクとゆるゆる」のコンセプトについて、グループ2でも「多目的」、「目的がない」というキーワードが出ていました。何かをするために行く施設ではなく、行ったら何かが始まるような仕掛けとしてベンチやフリースペースがあると良いと思いました。

■会長

「ワクワクとゆるゆる」の話が出ましたが、高校生の方はいかがでしょうか。先ほどの話を受けてでも良いですし、他のグループの発表を受けてのご意見をお聞かせください。

■高校生

色々な人がコミュニケーションをとれる場になったら嬉しいと思います。例えば学生が部活動の発表をしたり、料理の上手な方がシェアキッチンなどを利用して出できたり、リサイクルのイベントができたりするような施設があるといいと思います。

フリースペースやイベント会場は他の場所にもありますが、使い方が分かりにくかったり、使いにくいとったりすることがあります。普段関わらないような様々な世代と関わることができたらいいなと思います。様々な世代の人と話すことで刺激を受けることができるため、そういった関わりがしやすいような施設だと良いのではないかと思います。店舗出店やイベントを通し、コミュニ

ケーションが生まれたらいいなと思います。

■会長

多世代の人が交流できるような取り組みやプログラムがあるといいと思いました。

■委員

成果物を拝見した際に、各グループ付箋の数が多いキーワードに偏りがあるなと思いました。「多目的なスペース」には多くの意見が出ており、私もそういったスペースがあったら良いと思います。一方、音楽や料理等にはそれぞれ異なる設備が必要となるので、全てを1つのスペースで賄うことは難しいと思います。

また、交流について、文化的な交流の他、障害を持った方や若い方、高齢者が一緒に交流できるスペースがあると良いと思いました。以前ボッチャの意見を挙げましたが、そのようなスポーツであれば会議室のようなスペースでも実施できると思います。

■会長

ちょっとしたプログラムや工夫で人々が交流できる可能性のあるスペースが良いと思われたのですね。また、シェアキッチンやライブハウスなど、スペースのアイデアとして様々な意見が出ていますが、そのためには求められる機能が色々あると思うので、いくつかの中から2～3を選択することは考えなければならないかもしれません。現段階では絞り込まずに、建築デザイン等を考える際にどこまで実現可能かを考えていただくことでも良いかと思いました。ありがとうございます。

■委員

目的を持って足を運ぶ方と無目的で来られる方が両方いらっしゃるようなスペースになると良いと思いました。少しお腹が空いたから何か食べたいという人にはキッチンカーがあったり、バスを待つ間に少し寄ってみようかなというような、目的なく立ち寄った人にとっても楽しいことがありそうと思っていただけたりするような場になると良いと思いました。庁舎跡敷地の地形を利用して、キッチンカーを一部へ集めたり、バス停があるあたりには1つの広い空間を作りお茶を飲めるようにしたりなど、様々なことができる空間にしたいと考えました。音楽や料理ができる部屋もあるような、様々な機能のある建物になれば面白いだろうなと思いました。

また、町会・自治会が使える広い空間は必ず欲しいと思っています。グループで話し合いができるようなスペースが必要だと思います。

加えて、武蔵野プレイスにはコワーキングスペースとして一人で調べものや勉強ができるスペースや、複数人で勉強ができるようなスペースがあり面白い

と思いました。そういったスペースもあると良いと考えました。

■会長

ちょっとした工夫で、コワーキングスペースや複数人が集まって勉強できるようなスペースなど、色々な使い方が出来ると思います。高校生が勉強できるスペースと、少し離れた場所には声を出してディスカッションができるスペースなどがあると良いかもしれませんね。

町会・自治会が使う部屋としては、4、5人が集まるスペースと、少し騒げて大人数が集まれるようなスペースがあるといいでしょうか。

■委員

20人前後の人が集まるようなスペースが欲しいですね。

■会長

新年会等の際に少し騒げるスペースがあると良いかもしれません。本日の会場のような施設は他の方々に配慮して、音が出せないことが多いと思います。音を出しても良いようなスペースがあると、自治体の方だけでなく、トライアルの音楽ライブをやりたい方々が仲間を集めて演奏会を行ったり、高校生がイベントをしたりすることもできるかもしれませんね。

■委員

新たにできる施設が、住民としての暮らしの延長線上にあると良いのか、シンボリックで練馬ならではの、日常とは一線を介した特別な場所として盛り上げた方が良いのか、自分の中で意見が揺れています。

いずれにしても様々な目的の方が集まるパブリックスペースとしての役割は大事にした方が良くと思ったので、受動的に参加したい方々と主体的に関わっていきたい方々がゆるやかに交わっているようなスペースになると良いと思います。

目的を定めすぎないほうが良いと思いますが、実際に施設ができたことを想像し、ここに自分が何を求めに行くのかを考えていました。

■会長

前回の高校生の皆さんの発表は「ワクワクとゆるゆる」というコンセプトで、それらがゆるやかにつながっているひょうたんのようなイメージがあり、秀逸だと思っていました。今、挙げていただいた意見も同じようなイメージかと思っています。やはり、特別な仕掛けがないと人が集まって利用されるスペースにはならないと思いますが、地域の人にとっては日常の延長で気軽に行けるようなスペースが大事だと思いますので、その両面を持つような場所が必要だと思いました。そのバランスをうまく取れるような場所にしていきたいですね。

■委員

後期高齢者である自分として、どういう施設であれば利用するのかを考えた

ときに、友人を「石神井公園に来ない？」と誘い、石神井公園や三宝寺池などまちの歴史について話しながら楽しく散策するようなイメージを持ちました。施設を自分が使うのなら、という前提で考えたときに、まち歩きができるような、車の入らないような散歩道があれば良いなと思いました。

加えて、武蔵野プレイスのようなワーキングスペースや、若者が演劇活動や軽音楽の練習ができるような防音スペースもあるといいと思いました。

■会長

ありがとうございます。自分が利用するとしたらという視点は非常に重要だと思いました。具体的なイメージが湧いて、よく理解できました。友人等を石神井公園へ誘った際に、こういった感じで利用したいというイメージが湧くと良いなと思います。

■委員

私は石神井に来て2年になりますが、その前は流山市に住んでいました。流山市は街中が幼稚園のようで、子育てに非常に力を入れている場所です。

石神井に来て最初の印象は、非常に年代のバランスがとれているなというもので、それが維持されると良いなと思いました。お子さんが減っては維持できないので、少子化対策は喫緊の課題なのだなと実感しています。石神井は、東京の中では子育てがしやすい場所なのではないかと思います。石神井公園周辺の強みや魅力としては、みどり、歴史、文化や文学などもありますが、子育てのしやすさも打ち出せると良いと思います。庁舎跡敷地にこういった施設を入れるかは固定しなくても良いのではとも思いますが、個人的には、少子化が進んでいる中、将来の日本の経済停滞に関する不安や介護不安などもある中で、練馬区や石神井としても、子育てや若者支援に対応していくというのは大きな視点なのではないかと思いました。

また、まちの特徴として、今は駅、石神井公園、素敵なお店等がある商店街が点々と存在しているイメージがあります。今回の再開発で道が繋がれば、駅と庁舎跡敷地の点と点が一つの線で結ばれるイメージになると思います。また、駅から公園の道は行政のご尽力もあり最近歩きやすい素敵な空間に整備されましたが、庁舎跡敷地から石神井公園までのパークロードには車が絶えず通っており、今ある素敵なお店等もゆっくりと見ることができない状態です。なかなか難しいのではとも思いますが、そこが改善されると、駅、公園、庁舎跡敷地の三点が線で結ばれ落ち着いてまちを回遊できるようになるのではないのでしょうか。点から線、線から面、そして面に滲み出せるようになることで、新たな繋がり、出会いや創造が生まれるなど、石神井公園周辺としてより魅力的になるのではないかということをイメージしながら、庁舎跡敷地の施設について考えると良いと思いました。

■会長

まち歩きをする際には、歩きやすいルートや通りがないとなかなか楽しくないですね。グループ1でもそういった話は出ていて、歩いて楽しいまちというのがこれから大事になってくると思います。この施設を起点として、この施設だけでなく、自転車やバスで施設に来られるような、また、まちを歩いて楽しめるような周辺の環境整備を区にしていきたいと思いますですね。

■委員

石神井公園周辺はいろいろと魅力的なものが沢山あると思いますが、それが見えづらく、せっかくのポテンシャルが活かされていないと思います。まちがより整備されると良いと思いました。

■委員

前回のワークショップと今回のワークショップで、学識経験者や地元団体、公募区民、高校生の皆様の意見を元に6つのカテゴリーがまとめられ、今回のワークショップも含めて、方向性が見えてきたと感じています。

一方で、先ほどの意見にもあったように、「点から面へ」という視点があります。再開発ビルなども含めて、富士街道と道路がどのようにドッキングして、車の流れがどのように変化するかにも着目しておりますし、男女共同参画センターと、センターに隣接している都営アパートも、将来的には何らかの形に生まれ変わると思っております。石神井公園の北と南全体の変換というような大きなレンジで考えることも必要だと思います。

■委員

私は石神井で生まれ育ちましたが、石神井公園と言えば公園のみどりがすごく魅力的だと思っています。そういった魅力に対し、「俗化されていないところが良い」という意見もあります。駅と公園の間に商店街や住宅地がありますが、駅から石神井公園に向かったときに何かシンボリックな景観を担うものがあればより良いなと思いました。人が集まる、話題になるような建築物になると良いなと思います。ただ、あまりにもにぎやかな街並みを目指すのではなく、静かに落ち着いた、先の世代を見つめたような施設になると良いと思いました。

■会長

調和がすごく大事だと思います。第2回検討会議では、高校生から「武蔵野プレイスはデザインを頑張っていて、諦めていないところが素晴らしい」という意見が出ましたが、今回の施設も皆さんが良いなと思えるようなデザイン性が優れた施設だと良いなと思いました。

■高校生

以前お世話になっていた同様の施設を想像しながら考えていました。その施設には、スペースや部屋がたくさんあって、私がお世話になっていた先生がその

部屋を借りて講義をできるなど、ただスペースがあって、利用者が好きなように使える形でした。何か目的が決まっているから来るという場というよりは無目的なスペースがあると、静かで穏やかな、落ち着いた感じになりつつも、にぎわったカフェや飲食もあると良い感じになるのかなと思いました。

■会長

ありがとうございます。

本日1点ご確認したいことがあります。本来はその点について、皆様一人ひとりに意見をいただきましたのですが、時間の関係もありますのでまずは私から説明させていただきます。

方向性としては、事務局でまとめていただいた6つの大きな要素として「日常・居場所」、「みどり・憩い」、たくさんの方から意見をいただいた「まちの回遊性」、様々な方が集まれてかつ交流できるような「多世代」、シンボリックでみんなが来たいと思えるような「情報発信」、目的をあまり限定せず自由で使えるような「多目的なスペース」があります。一方、使い方によっては賑わいが出せるような施設であると良いという観点から、「賑わい」という要素はあってもいいのかなと思いました。いただいた意見を含め、大きな方向性としてはこのような形でまとめて良いかご意見をいただきたいです。もしよろしければ、皆さんの意見を踏まえ具体的にどういった点が大事なかをまとめていきたいと思っています。

この枠組みでは困るというご意見や、こういった観点は取り入れていかなければならないと思う点はありますか。

■委員

1点だけ気になったのが、グループ2でもアイデアとしてあまり出ていなかった、「多世代」というキーワードについてです。人の属性でテーマを絞るというよりは、施設の要素の結果として多世代が集まるような形を目指す方が良いのではないのでしょうか。何か形を決めた上で、結果として多世代が集まる場となったとなるような方がイメージは湧きやすいのではと思いました。

■会長

ありがとうございます。日常・居場所や憩いの場、そして多目的な活動がある場の結果として、多世代が集まるという整理の仕方はあるかなと思いました。他にはいかがでしょうか。

■委員

最初はシンボリックなものができるの良いなとも思っていました。金沢の21世紀美術館のようなものまでは無理かもしれませんが、「あの施設があるから石神井公園に行こうかな」と思えるものがあってもいいのかなと考えていました。一方、施設全体が仮にシンボリックでなかったとしても、生活レベルの話、日常・

居場所といった話でも、そこに斬新で新しい取り組み等があれば、シンボリックで注目を集めるような場になるなとも思いました。

■会長

必ずしも矛盾しないものと思います。ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

■委員

「多世代」というキーワードはハードの問題ではなくソフトの問題であると思うので、メタレイヤーで良いと思いました。

防災という話が2件出たので、「居場所」や「みどり・憩い」の項目に防災も含まれると良いのではと思いました。発表の際は削れてしまうのですが、前回のワークショップでも今回のワークショップでもグループ2で防災の話は出ているので、落として良いのかは疑問に思っています。

■会長

そうですね、場合によっては項目として建ててもいいかもしれません。実際に有事の際は防災の観点が非常に求められるものと思います。ありがとうございます。

他にはいかがでしょうか。

■委員

目的を決めずに大きな貸し空間、小さな貸し空間を設けるという話は私もとても良いなと思いますが、多目的なスペースは運営が難しいと思います。誰が施設を運営するのか、イベントはどのようにコーディネートするのかなど、組織やマネジメントをどのように進めていくのか、そこでどのようにお金を稼ぐのかも併せて検討されると良いなと思いました。

■会長

そうですね。多世代はメタレイヤーかもしれないという点と、考えた機能を実現するためのデザインやプログラムをこれから合わせて検討する必要があるという点は明記する方が良いと思いました。他にはいかがでしょうか。

■企画部長

「情報発信」という項目について、グループ3では意見があまり出ませんでした。機能としての情報発信なのか、建物が唯一無二で発信していくようなものなのか、皆さんの中でイメージがすり合っていないように思います。「情報発信」というカテゴリーをそのまま残しておくべきか疑問です。

■会長

その通りだと思います。書き換えた方が良いかもしれないと思いました。事務局側で取りまとめていただけますでしょうか。

■委員

前回のワークショップでは、石神井公園に住んでいる小説家の方々について、また、まちの歴史等を発信したらどうかという話になっていました。今回のワークショップでは、この施設で行われるような様々な活動を外にどう発信されるかという話になり、定義について混乱してしまった部分がありました。そこを分けて考えた方が良いでしょうと思います。

■会長

歴史的なものを体験できる、情報発信という話はソフト面のプログラムとして組み込めると思いました。そういった整理にするかも含めて検討します。

■高校生

色々な意見が出て、全部の意見に納得し、大事だと思いました。私は施設のイメージとしてひょうたん型がいいなと思っているので、その中で色々なものを区分けして、なるべく多くの要素を織り込んだ、色々なスペースがあったらいいなと思いました。

■会長

是非そういう方向で、良い建築デザイナーをお願いする方が良くかと思いました。これでワークショップのセッションを終了して、事務局の方にお戻しいたします。皆さん、ありがとうございました。

3 その他

■事務局

次回の検討会議の日程は決まり次第ご連絡いたします。

また、本日は副区長も参加していますので、一言ご挨拶をさせていただきます。

■副区長

ワークショップをぜひ拝見したいなと思って本日はお邪魔させていただきました。色々な思いをもって、色々な視点から皆さんがお話してくださったので、とても嬉しく思いましたし、これからすごくいいものができそうだなと思いました。また、参加している部長たちの知られざる素顔、考えていることについても伺うことができ、面白く聞いておりました。皆さんと一緒に考えていただいてとてもいい方向に進んでいるなと思いましたので、これからはどうぞよろしくお願いします。

■事務局

これにて散会いたします。本日はどうもありがとうございました。

以上